

伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465

アメリカと大企業が球める TPP参加NO!

力を合わせず断固阻止へ

―御子柴組合長に緊急インタビュー―

安倍首相のTPP交渉参加表明直後の3月18日、本紙編集部は、TPP反対の先頭に立っている御子柴茂樹J-A上伊那代表理事組合長に緊急に見解をお聞きしました。



インタビューに応じる御子柴組合長（正面）

農家はがんばっています

伊那の農業生産高1位が米穀 2位きのこ、3位が野菜。1億円以上の生産額のある品目は24あり、農家はがんばっています。

ただ、兼業農家が9割を占め、TPP参加で農産物価格が下がると、日本は国の価格保証・所得補償がないため、誰も作りに手がなくなってしまう

います。

農家は、燃料や原材料は高いものを買わされるのに、自分で米など農産物の値段を決められません。今の倍の値段にしても元が取れない。だから、後継者が育たないのです。

地域・農業・医療・食の安全を破壊

伊那は、農業が主要産業です。農業が破壊されれば、それを支える産業も打撃を受け、地域が壊れてしまいます。田畑が荒れ果て、人々の絆も、ますます弱まってしまっかつて農業が中心だつ



3/14 TPP交渉参加断固阻止緊急上伊那集会(於：南信会館)

たときは、地域に縁があった。アメリカはお金の文化で、日本は、その真似をしたことで家族が壊れてしまった。火事やお年寄りが犠牲になってるが、その結果ではないか。

TPP参加は、アメリカのやり方を日本に全部持ち込むことになり、農業だけでなく、国民皆保険制度が壊され、食の安全が保証されない等々、アメリカに対して、日本がますます何も言えなくなってしまう。地域があつて国があるのです。国があつて地域

があるわけではありません。

大企業重視の安倍首相 安倍首相は、経済収入があれば農業が無くなつてもいいと考えている。輸出産品などは、諸外国が関税を撤廃すれば、もっと大儲けできると首相に圧力をかけている。輸出産業は、消費税は全部政府から戻してもらっている。一円も払っていない。儲けをたくさんため込んで貧富の差を大きくしています。

共闘広げTPP参加やめさせよう

参加阻止には、たくさん人の理解と多くの団体との共闘がどうしても必要です。ブレない共産党が、国会では議席が少なすぎます。小選挙区制をやめて中選挙区制などにすることが必要ですね。

TPP交渉参加反対大講演

鈴木宣弘東大教授来る!

4月20日(土)午後6時半

J-A本所フラーホール

主催：TPP参加反対実行委員会
連絡先：上伊那農民組合
73-0785

地 蜂

TPP参加で農家は壊滅 TPP(環太平洋連携協定)交渉に参加を政府は表明した。貿易自由化、全物品の関税を原則撤廃が目標。政府の試算

でも、農林水産物は3兆円生産減少。コメ・豚肉・牛肉・牛乳等が。自動車等工業製品が輸出増で、参加が得という政府は、やはり農家の味方ではないのだ。医療他影響分野は多いが、ここでは農業に限って言えば、コメは、1兆円以上の影響

生産規模が大きい米国等は、大型農機具を使い、種・肥料・農薬を飛行機で撒く等コストが違つ。関税なしで無制限に安価に輸入すると、日本の稲作は壊滅する。麦などはとくに輸入に押されてしまった。稲作は唯一国内生産が維持されてきたのに、日本中が荒地に 今でも農業は赤字だ。畑作は何を作っても赤字だ。自宅消費用に野菜等少し作る私も十数年前には近在に牛や豚を飼う農家があつて、有機質肥料を手でできたが、今は仕方なく愛知県や遠くから買うが、それも不可能に。 農薬まみれの輸入品 畑は放置して数年もすれば木まで生えて原野に。やむを得ず雑草根治のため耕運機を年数回廻す。田も駄目なら、日本中が荒れ地に。消費者の立場からも、生牛乳が国外産では困る。食品安全面からも農薬まみれの輸入品は不安だ。(H・T)

パネル掲げTPPで質問

参院議員 井上さとし

比例区
予定候補



追及議員を参院と安倍総理と上野安彦委員で試算する

TPP 問題を追及した参院予算委員会でのレビ質問に多くの激励をい

ただきました。特に注目を浴びたのが、質問で使った、「ウソつかない TPP断固反対 プレない 自民党」と書かれたポスターのパネル。掲げた時には委員会室でどよ

めきがおきました。「このポスターの通り、ウソつかないで」と釘をさし、「聖域無き関税撤廃が前提でないことが確認された」という総理発言の「まかしを追及。日米合意は、「すべての物品を対象に」関税を撤廃する」ことを確認した上で、「協議で日本が例外を主張することを妨げない」という程度のものだとただすと、総理も関税撤廃の例外実現には何の保証もないことを認めました。

「原発ゼロ」の日本にしましょう

参院長野選挙区予定候補 唐沢ちあき

「つながろうフクシマ! ひろげよう脱原発! 3・10長野行動」に参加しました。

原発事故の影響でいまだ15万人を超える人が避難生活を余儀なくされる中、福島に参加者からの「私たちはあの原発の恐ろしさを誰より知っている」との訴えは胸を打つものがありました。毎週金曜日の首相官邸前抗議行動に呼応した「キンカン行動」がここ長野でも駅前で行われていますが、その行動ではマブソン青眼さん(比較文学者でエッセイスト)ともお会いしま

した。「ここに集まった人に向かって言っているんじゃない! 参加していない周りのみんなに声をあげてほしいんだ!」との彼の呼びかけに、会場は大きく盛り上がりました。

みんなの力で「原発ゼロ」の日本にしていきましよう。



行動に参加したマブソンさん(右)と唐沢ちあきさん(左)

九条の会 学習講演会大盛況 東春近

う解決したらよいか



講師の宮下さん(右端)の川島横須

「今、なぜ憲法九条か」と題した学習講演会が3月24日、東春近ふれあい館で開催され大盛況でした。

宮下与兵衛さん(高校教師)から、沖縄に駐留しているアメリカ軍の海兵隊や首都東京の横田基地、神奈川県から、緊張関係が続く中、ど

賀などの米軍基地の実態と日米安保条約について、また安倍首相が、いま憲法九条を変えて、国防軍をもち、戦争をする国づくりを目指していること、そして、これらの危険な動きをくい止めようと憲法九条や平和をテーマにした学習会、署名運動が取り組まれていることが紹介されました。

参加者からは「近隣諸国との緊張関係が続く中、ど



会場いっぱい参加者

生活保護基準引き下げ問題

ひとごと他人事ではない!

上伊那医療生協安心町づくり委員会は、3月16日、弁護士渡邊恭子さんを招いて、「いのちと暮らし学習会」を南箕輪村民センターで行いました。政府が、8月から生活扶助費の基準を8〜10%削減することを決定したことを受けて計画したものです。

渡邊さんは、基準の引き下げについて、マスコミで「不正受給」や「生活保護より低い水準で生活している低所得者が多くいる」等のキャンペーンをはって世論誘導し、憲法25条で保障された「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を、多くの国民から奪うものであると説明。生活保護基準の引き下げは、就学援助利用者や住民税非課税者介護保険などにも影響し、

生活保護を受けていない中低所得者層を直撃するとのお話でした。

また、日本は、老齢年金・障害年金・傷病手当・雇用保険・住宅手当等のセーフティネットが不十分で、生活保護に頼らざるを得ない実態があること、国際比較をしても、日本の予算に占める保護費の割合は、とても低いことのお話もありました。



消費税増税 「TPP参加」やめてほしい

重税反対全国統一行動上伊那地区集会

3・13伊那地区連絡会(事務局・上伊那民商内)は、3月14日、いなつせ6階ホールで重税反対の集会を開きました。



市中デモの後、税務署に向かう集会参加者のみなさん

関心に先立つて2年前の東日本大震災や原発事故、長野県北部地震で被災・亡くなられた方々に黙祷を捧げました。

主催者代表の滝沢孝夫上伊那民商会長はじめ各団体の代表は、それぞれの立場から、安倍自公政権が国民の声を無視して押し進めようとしている「庶民いじめの消費税増税」「国を滅ぼすTPP参加」そして「危険極まりない憲法九条改悪」を許さないようにがんばりましょうとの決意を語りました。

集会アピール採択の後、街頭パレードに移り、税務署で集団申告をおこないました。

毎週金曜日午後6時から30分間、いなつせ北側広場での「脱原発」いな金行動。3月1日も雨ながらに負けずに行動



「なくせ!原発」「脱原発」各地で行動



さよなら原発上伊那の会主催のデモは、3月10日に4回目。いなつせ発で、153号 伊那北駅 いなつせのコース。福島県民に連帯。



窓の市議

実ってない稲穂?

飯島 光豊

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という諺があります。稲穂を借りて人を諭した言葉です。人の上に立てば立つほど人間というものは謙虚にならなければいけないと言つこと。もつとも冷害にあった稲穂は頭を垂れませんが・・・。

さて市長自らの失策で抱えてしまった公社「塩漬け土地」。市はこの穴

埋めの借金として三セク債20億5千万円のツケを市民に回します。この他にも地価下落損などで8億円余の税金が消えています。

地元紙も「三セク債の起債で市民一人当たり3万円余の借金をお願いすることになると指摘。市民に対する市長の陳謝を求めた。」と、私の発言を一面トップに掲載したほど。

しかし市長は、いまだ結果責任を認めず、市民への謝罪の言葉もなく謙虚さが問われます。まして市長自らの失策によって発生することになった借金なのでから。

被災地 保育園建設に資金援助を！

西箕輪 荒恵子さんが訴え

二〇一一年三月十一日の大震災から二年。この度、石巻市の洞源院が保育園建設に向け着工にふみ切りました。復興の道のりは遠く、子どもが戻れる街への思いから決断しました。

崎さんとのご縁は、亡き弟とは無二の親友。僧侶としてタイ国での修行、戦没者遺骨収集など苦楽を共にした間柄です。

この間、絵手紙パネルや救援物資を届けながら支援しています。どうぞ、趣旨をご理解いただき、資金援助いただきますようお願い申し上げます。

連絡先：荒(74 1255)

災害時、高台に位置していた洞源院に逃れてきた被災者は四百人。多くの人たちが救われました。困難な時、子どもの存在が希望だったとご住職ご夫妻。ご住職の小野

随想

「蟹工船」を観て
ますみヶ丘 中山善司

3月12日に伊那文化会館で、東京芸術座公演、村上知義演出による「蟹工船」を鑑賞しました。

「蟹工船」は、昭和初期（昭和3年頃）の北海道函館港を母港にする蟹工船で働く労働者（プロレタリアート）の生活を描いた小林多喜二の小説が原作の演劇です。

今回公演は、伊那市民劇場第162回例会で、出演した33名の俳優一人一人が主役の公演でした。中間の休息時間を挟んでの一幕は、舞台や演出も大変工夫されており、終始エネルギーが溢れる動き、演技の連続で2時間30分の時間経過を忘れさせるもので、ストーリーの展開に釘付けになりました。

時化（しげ）の時の船の動きや波のうねり、波浪の様子も工夫されて表現されており、出演者の船上での動きも自然で揃った動きがとれていました。

出演した俳優の中に、飯島町出身の小田原美保さんが「宮口の母役」で出演されており、市民劇場第1回公演「夕鶴」を、在学していた赤穂高校で仲間とサークルを作った鑑賞したことについてお話しされ、そのお話にも大変感動しました。

昭和初期の当時の状況を身近な人々に詳しく聞く機会はありませんでしたが、近年の国民生活の状況がますます85年前に近づいて、時代が逆に進んでいるような気がして大変危惧を感じました。



「蟹工船」の舞台
(インターネットより)

催し案内

「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時30分
いなっせ北側広場

主催：さよなら原発上伊那の会
連絡先：医療生協組合員センター

「東春近九条の会」発会式

4月20日(土)午後3時～5時
会場：未定

連絡先：横田(95-4325)

美篤桜めぐりウォーキング

4月21日(日)午前9時50分
笠原集落センター集合

主催：上伊那医療生協健康づくり委
連絡先：組合員センター(79-8702)

平和憲法を守る県民大集会

4月29日(月・祝日)午後1時開会
ホクト文化大ホール(長野市)
記念講演 澤地久枝さん

「九条の会」よびかけ人・作家

主催：実行委員会

連絡先：026-235-1321(栗岩)

絵手紙

東春近 渡辺佐智子



上伊那医療生協東春近支部は、80歳以上の組合員さんに、誕生日のお祝いとして絵手紙とアクリルたわしを差し上げています。絵手紙は、ボランティアの方たちの作、たわしは、介護施設「なないろの家」の入所者さん作です。上の作品は、3月の誕生月の方に差し上げた中の1枚です。

憲法と原発を考えるシンポジウム

5月3日(金)午後2時～4時半

於：フラワーパレス(JA上伊那本所)
6/8と共通協力券500円

主催：原発と憲法を考える実行委員会
連絡先：久保田(78-0823)

お便り、情報、原稿をお待ちしています。
どんなことでも結構です。
発行元までお寄せください。(編集部)